

薬史学会通信

No.24 1997年2月

〒113

東京都文京区弥生2-4-16

（株）学会誌刊行センター内

日本薬史学会事務局

Phone (03) 3817-5825

FAX (03) 3817-5830

日本薬史学会総会ご案内

日 時：1997（平成9）年4月12日（土）13:30より

場 所：東京大学薬学部3F講堂（文京区本郷7-3-1）

次 第：13:30～14:00：総会

14:00～16:00：公開講演

齊藤 洋（東京大学薬学部）：医療における薬理学

——過去、未来——

堀岡 正義（東京田辺製薬）：調剤学の変遷

（総会講演会は、日本薬剤師研修センターと共催で行われ認定薬剤師制度の対象となっております。ご来聴を歓迎いたします）

16:00～：懇親会

東大医学部図書館地階食堂（会費・3,000円）

なお、当日正午より評議員会を開催の予定です（別途連絡）。

○第33回国際薬史会議（ストックホルム・スウェーデン）について

1997（平成9）年6月11日（水）～14日（土）

2ページ記載の通り、第33回国際薬史学会開催について、ヘルデリウス・スウェーデン薬史学会々長より案内が送られて来ています。日本薬史学会としては出来るだけこの要請に応えるべく、会員各位にご出席を呼びかけます。一年中で一番気候の好い時期に北欧文化の香る地での学术交流また観光に、ひとときを過ごされては如何でしょうか。

Congress for the History of Pharmacy

June 11-14, 1997, Stockholm, Sweden

分科会 1. 薬局技術学——新しい局面を踏まえた本来的領域

” 2. 生薬学——薬局学の基本とその発展

” 3. 旧来および現在の地域薬局

” 4. 薬系分析技術の発展

” 5. 臨床実践の展開

” 6. 薬局関連の絵画・映像、シンボルマークおよび看板

大会での発表申込は、ポスター使用の部が本年3月1日と切迫していますが、参加申込は：

The Swedish Academy Pharmaceutical Sciences

33rd International Congress for the History of Pharmacy

P.O. Box 1136

S-111 81 Stockholm

SWEDEN

ですが、本学会が企画した医薬史蹟を訪ねる旅（第1回～第5回）を扱った下記旅行社に問合せ下さい。

株式会社スペース 〒102 東京都千代田区九段北3-2-4 TEL 03-3263-7664 担当：深沢 教

第5回医薬史蹟を訪ねる旅（中国）

既報通り昨1996年10月12～24日の間、全行程参加20名（一般17名、添乗員1名、中国薬史学会2名）一部参加2名で行われました。その上、中国人ガイドとして全行程を中国国際旅行社総務から1名、各地域より1名が担当される等、学術面でも観光面でも豊かな内容とすることができました。

今回の主目的は、北京・西安・成都・上海にある大学の医史博物館と杭州の古い薬局に設置された薬史博物館と、薬王と称ばれている孫子邈（そんしばく、千金要方、千金翼方の著者）の故郷と生薬市場を見学し、あわせて一般史蹟の観光を含むという盛り沢山なものであります。

特筆すべきは、全行程を中国中医研究院、医史文献研究所々長の鄭全生先生および、同

研究院中薬研究所の趙中振先生が全行程を一緒に案内して頂けたことで、このために、参加者が持っている多様な希望と質問に答えて頂けることができました。

さらに今回は、医史文献研究所が所属する中国中医研究院を挙げて我々を歓迎して下さい、同院の傳世垣院長をはじめ、医史学の上で高名な馬継興教授・謝宗万教授など多数の学者も参加され、交流の席上、柴田承二本学会々長のメッセージを発表し、また傳院長よりも挨拶を給りました。

また「文の国」中国の歴史学者にふさわしく、各地で漢詩や成句の歓待も受けました。何れも参加者だけの感激では勿体ないので、まとめて機関誌に掲載いたします。

相次ぐ名誉会員の訃報

木村雄四郎元会長を偲んで

平成9年1月1日に元会長、木村雄四郎博士が老衰で逝去されました。先生は金沢の出身で大正6年京都薬学校を卒業後、大正8年東京帝国大学医学部介補に嘱託され、朝比奈先生の下で生薬学を研鑽されました。東京衛生試験所員、津村和漢薬研究所主任、東京都製薬研究所長、日本大学理工学部薬学科主任教授などを歴任され、退職後は北里研究所東洋医学研究所客員部長に就任し、活躍されました。この間、薬用植物、生薬および東洋医学に関係する厚生省や東京都の専門委員会委員、大学の講師や学会、協会などの役員、顧問を引き受けられて幅広い薬学教育、薬学界、薬業界、薬事行政の発展に寄与されました。これらの御功績により、東京都および新潟県の両知事から表彰され、勲三等瑞宝章を受勲されました。先生は日本における薬史学研究の必要性を慮り、昭和39年10月10日、日本薬史学会を朝比奈泰彦、清水藤太郎、吉井千代田、山科樵作、高橋真太郎の諸先生方と創設されました。朝比奈先生に次いで昭和51年4月、二代目の会長に就任され、事務所を日本大学生薬教室に設け、吉井千代田、根本曾代子、川瀬清の各幹事方と協力して薬史学雑誌の発行、日本薬学会年会への参加、集談会の実施など会の運営、発展に力を盡くされました。現在、本学会が新企画を推進し、着々と成果を挙げ躍進していることを思うとき、その基礎を築かれた先生が深く偲ばれます。

享年98、謹んで先生のご冥福をお祈り申し上げます。(T)

根本曾代子博士を偲んで

平成8年9月22日に名誉会員・根本曾代子先生が逝去されました。

先生は、昭和5年東京女子薬学校（現在の明治薬科大学）を卒業され、昭和27年頃から薬史学の研究を始められました。ご研究の領域は、主として近代（明治期以降）の日本および一部、ヨーロッパも含めた広い範囲の薬学先駆者を対象とする薬史学的研究であり、多数の著書論稿を発表されておられます。また、東京大学、国立衛生試験所の100年史編集委員なども歴任されました。

先生は昭和58年に「日本の薬学—東京大学薬学部前史」のご研究で学位を授与されたことは、皆様のよくご承知のところであります。

享年92、謹んで先生のご冥福をお祈り申し上げます。(Y)

江本龍雄名誉会員を偲んで

平成8年12月31日に名誉会員・江本龍雄先生が心筋梗塞で逝去されました。

先生は昭和14年、長崎医科大学薬学専門部をご卒業後、厚生省に入省、薬務局に勤務され、第5改正日本薬局方（昭和7年公布）以降、日本薬局方調査会幹事として局方改正の業務を担当されました。その後、三共株式会社を経て日本公定書協会の設立とともに、調査部長に就任され、従来に引きつづき薬局方改正にあたられ、また日本薬局方百年史（昭和62年3月刊行）の編纂を担当されました。

薬史学会では野上寿会長の当時、常任幹事として会員管理を担当し現在の会員名簿の基礎を創って戴きました。

享年80、謹んで先生のご冥福をお祈り申し上げます。(Y)

日本薬学会第117年会

薬史学会

3月27日(木) 玉川大学・文学部第1校舎・500

一般演題(10:00)

- ・小石川植物園所蔵「葯草寫真」について
摂南大薬 ○邑田裕子、中西 勲；華陽高校 遠藤正治；岐阜薬大 水野瑞夫；都立大理 邑田 仁
- ・伊吹山採薬記にみられる薬用植物について
薬草に学ぶ会 ○後藤尚夫；日野製薬 山口茂治；岐阜薬大 田中俊弘
- ・近代春日村における薬草仲買人・小寺甚五郎の記録―「売上帳」に見られる行商地名と取引量の考察
森の文化博物館 ○高木朋美；岐阜薬科大学 田中俊弘
- ・韓国国宝・宝物薬師如来と薬壺
名城大薬 ○奥田 潤
- ・太田雄寧著薬舗心得草の史的考察
日本薬史学会 小山鷹二
- ・近代日本医薬品産業の発展その12
明治・大正・昭和時代の製薬企業の広告について

- 大日本製薬株式会社 ○竹原 潤；日本薬史学会 山田久雄、山田光男
- ・体液中薬物濃度測定の史的考察(1)化学療法剤について
日本薬史学会 末廣雅也
- ・「病院(医院)」と「Hospital」
順天堂大医・順天堂医院 ○吉野清高；東邦大薬 金久保好男、山村重雄
- ・薬大生の病院実習の変遷
東邦大薬 ○金久保好男、山村重雄；千葉大医 北田光一

シンポジウム(13:00~16:30)

- 医療と文明―科学の歴史の視野から
「薬の概念と医薬科学の史的変遷」
日本薬史学会 山川 浩司
- 「サービス科学とインターネット」
神奈川大学経営学部 中山 茂
- 「医学史の立場から」
北里研究所・
東洋医学総合研究所 大塚 恭男

編集後記

この冬の寒温の差の激しい事に関係あったのか、多勢の名誉会員の訃報に接しました。或は一つの世代の交代を意味しているかも知れません。わが薬史学会も新しい事業の展開へ向けて前進の歩を進めねばなりません。

まず3月末の日本薬学会第117年会のシンポジウムでは「医療と文明―科学の歴史の視野から」をテーマといたします。学問の歴史も他の分野と等しく、いま根底から変わりつつあり、その片鱗に触れることができましょう。

次いで4月12日(土)の薬史学会総会、また秋の講演会は、今年は関西地区で開催することが計画されております。今まで5回にわたり医薬史蹟の旅を外国に向けて実行してきましたが、今後は国内に目を向けて、灯台基暗しの傾向を脱皮しよう、との意見も出されています。

現代史研究も私たちの課題です。戦後50年も立派な歴史研究の題材で、21世紀への展望に欠かすことはできません。(K)